

かん ちん ちんじ  
「艱難汝を玉にす」  
未来に思いを馳せて

第4回

杉岡 誠 村長の  
愛楽故郷味  
あいらくふるさとみ



ふるさと飯館村の「味わい」を愛し、楽しむ「愛楽故郷味（あいらくふるさとみ）」。

樹々も色づき、秋らしく過ごしやすい気候になった神無月。月初旬には、ご結婚50年目になられた12組の方々の金婚式をお祝いさせていただきました。「病気をした時もあったけど夫婦で乗り越えてきたんだ」というお話など、語りつくせぬ歳月の積み重ねとご苦労があつてこそその仲睦まじさがにじみ出るご夫婦のお姿を前に、敬い、喜ばせていただきました。

また、3年ぶりに開催された大雷神社遷宮大祭と飯樋四区復興祭では、集われた方々がそれぞれ役割どころを持ちながら厳粛さの中にも懐かしさ、楽しさを満喫されているお姿や、子ども達が親御さんと一緒に夕暮れまで楽しんでいるお姿を拝見し、伝統文化を守り、伝え続ける力強さと大切さを学ばせていただきました。

23日には、いいたて秋まつり、いいたて風の子マルシェ、いいたて村文化祭、福祉チャリティー祭り、みんなのきょうの料理インスタライプと盛りだくさんのイベントがありました。二つの農産物や商品、作品、催し物に込められた「思い」と「温もり」を感じることが出来ました。多くの皆さまにも笑顔あふれるひととき、「わくわく」「楽しい」を感じていただけたのではないのでしょうか。

また、長泥地区で住民の方々による植樹記念式典が催される中、地域の心の繋がりを強め、ふるさとへの思いを膨らませて来た住民の皆さまに深く感謝致しました。村としてもその思いをしっかり受け取って取り組みを進めて参ります。

「ふるさとへの担い手」の想いと力が結実し、形となりはじめた月でした。「艱難（かんなん）汝（なんじ）を玉にす」と言いますが、苦労した分だけ、頑張った分だけ、磨かれていくものがあります。

お一人お一人が、まさしく宝玉となって生き生きと活躍する。それがふるさとへの想いであり、村が目指す姿です。

ひとのうごき

おくやみ

氏名	年齢	行政区
小林 光男さん	73	前田・八和木
桑名 幸美さん	101	草野
北原 シヅイさん	92	宮内
高橋 カオルさん	93	関根・松塚
古川 麿さん	86	小宮
庄司 マシさん	95	深谷

ご冥福をお祈り申し上げます

ひとのうごき 令和4年9月30日現在

人口	今月（前月比）	9月1日～30日までの人口動態
●男	2,449人（-9）	転入 6人
●女	2,433人（-11）	転出 18人
計	4,882人（-20）	出生 0人
世帯数	1,810戸（-2）	死亡 8人
		（住民基本台帳人口）

（9月21日から10月20日までに届け出のあったものを掲載）  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へ申し出てください。

ふるさと資源

発掘図鑑!



# 明治大学スタディツアー

明治大学の学生が企画したスタディツアーで3組の親子が飯館村へ。10月9日から



の一泊二日で新旧のスポットを巡り、食や祭りやワークショップを楽しみました。菅野宗夫さん（佐須）宅では稲刈りや餅つきを体験しました。

皆さんからの情報や投稿でつくるページです

どなたでも投稿できるコーナーですので皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯館村広報委員会（村づくり推進課企画定住係）

☎0244-42-1613



# いきいき長寿県民賞

自宅周りにコツコツと花園をつくり続ける「花仙人」こと大久保金一さん（小宮）が『第25回いきいき長寿県民賞』を受賞。10月19日に福島市で表彰式が行われました。積極的にいきいきと社会活動に取り組む高齢者を讃える県の表彰です。大久保さんは「晴れ舞台に上げていただき最高にうれしかったです」と周囲への感謝を話していました。

村民広報委員  
ふじおさんの



いいたて 宝さがし 第4回

海に生きて!

今回は、24歳で北原釜の漁師の元に嫁いだ同級生の桜井友子さん（旧姓・久保内／大久保・外内出身）を訪ねてみました。

嫁いだ当初は海の仕事の事が何も解らなくて随分と苦労されたそうです。船が出航する時は「船を浮かす!」船が帰って来る時は「船むげえ（迎える）」と言ったそうです。

3.11の東日本大震災の津波が来る時、玄関先で、旦那さんが「早く逃げろ!俺もすぐ後から行く!!」と言ってくれたのが最期の言葉だったそうです。旦那さんは5月7日に愛車の横で見つかったそうですが、家も何もかも津波で流されてしまって、1枚の写真も見つけられなかったと言います。夫が残してくれたものは「息子と6tの親子船だけ!!」それが私の宝とポツンと話してくれました。

現在は息子と孫2人の3人が、夫が残してくれた船で漁に出ていると言い、9月にひこも生まれて8人家族で賑やかに暮らしています。海に生きる人に嫁いだ海のおいのする同級生の話でした。



実家にあった写真

